

『慣用句』とは

二つ以上の単語が結び付き、全体として特別な意味を表す言い方をいう。慣用句の代表的なものを押さえておこう。

体の一部に関係がある慣用句

(例) 口が軽い 〃 おしゃべりである。
心情を表す慣用句

(例) 気が気でない 〃 非常に心配だ。

「使用方の誤りが多い慣用句の代表例」

- ・あの人は気が置けない人だ。(誤)
- 〃 あの人は気を許せない人だ。(誤)
- 〃 あの人は気を許せる人だ。(正)

身に付けると...

表現語彙こいが豊かになります！

やってみよう

〔解答〕

(1)	イ	(6)	オ
(2)	ア	(7)	コ
(3)	キ	(8)	エ
(4)	ケ	(9)	ク
(5)	ウ	(10)	カ

〔練習〕

あとの 〃 の意味を表す慣用句を次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選んで記号で書きなさい。

- ア 手に汗を握にぎる
- イ 歯に衣着せぬ
- ウ 耳が早い
- エ しびれを切らす

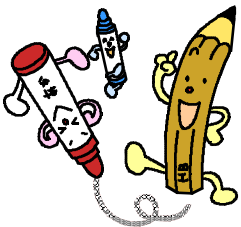
緊張し、はらはらして見る。

ひとつのつわさなどを聞きつけるのが早い。

遠慮じよなく思ったことを言う。

待ちくたびれて我慢がまんできなくなる。

- 二 (1) たかをくくる
- (2) 腑ぶに落ちない
- (3) 耳が痛い
- (4) 目もくれない
- (5) 歯が立たない



解答

イア

エウ

文脈の中で正しく使うためには、慣用句とその意味は、どちらからでも思い浮かぶようにしておくことが大切です。